

令和5年度 第1回学校評価の集計結果

【児童の回答】

| 質問 | A | B | C | D | E |
|---|------|-----|-----|----|----|
| 1 学校が楽しい。 | 87% | 13% | 0% | 0% | |
| 2 みんなで何かをするのは楽しい。 | 91% | 4% | 4% | 0% | |
| 3 授業に主体的に取り組んでいる。 | 41% | 55% | 5% | 0% | |
| 4 授業がよくわかる。 | 78% | 17% | 4% | 0% | |
| 5 先生は授業内容を一生懸命教えてくれる。 | 100% | 0% | 0% | 0% | |
| 6 道徳の時間には考えを深めることができる。 | 48% | 39% | 4% | 9% | |
| 7 いじめを見たら大人に知らせたり、とめたりすることができる。 | 61% | 30% | 9% | 0% | |
| 8 将来の夢やめざす目標をもっている。 | 78% | 17% | 0% | 4% | |
| 9 郷土福井を大切にしたいという気持ちをもっている。 | 91% | 9% | 0% | 0% | |
| 10 授業中、相手の考えを受け入れ、自分の考えにいかすことができる。 | 48% | 39% | 9% | 4% | |
| 11 進んで読書をしている。 | 48% | 26% | 22% | 4% | |
| 12 宿題の他に、進んで、勉強や自主学習をしている。 | 26% | 30% | 39% | 4% | |
| 13 委員会活動やお手伝いなど、友だちや家族、地域の人のために仲間と協力して仕事ができる。 | 95% | 5% | 0% | 0% | |
| 14 学校では、安心して勉強や運動をすることができる。 | 87% | 13% | 0% | 0% | |
| 15 「一乗スマートルール」を自分で決め、それを守っている。 | 52% | 35% | 9% | 4% | |
| 16 進んであいさつや返事をしている。 | 100% | 0% | 0% | 0% | |
| 17 自分にはよいところがある。 | 78% | 17% | 0% | 4% | |
| 18 授業でPC・タブレットなどのICT機器をどのくらい使いましたか。 | 74% | 17% | 9% | 0% | 0% |

【保護者の回答】

| 評価項目 | A | B | C | D | E |
|--|-----|-----|-----|-----|----|
| 1 学校は、「PTA総会」「懇談会」「学校だより・学年だより」等を通して、保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えている。 | 28% | 67% | 6% | 0% | 0% |
| 2 学校は、不審者への対応や交通安全など安全面について適切に指導している。 | 22% | 72% | 0% | 0% | 6% |
| 3 学校は、子どもたち一人一人を大切に、温かく指導している。 | 56% | 44% | 0% | 0% | 0% |
| 4 子どものことで、気軽に学校に相談できる。 | 28% | 56% | 17% | 0% | 0% |
| 5 わが子は、学校生活を楽しくしており、友人関係も良好である。 | 56% | 44% | 0% | 0% | 0% |
| 6 教職員定時退庁日をはじめとする働き方改革の取組を理解できる。 | 71% | 24% | 6% | 0% | 0% |
| 7 わが子は、授業内容を理解している。 | 33% | 56% | 6% | 0% | 6% |
| 8 わが子は、将来の夢やめざす目標をもっている。 | 33% | 50% | 17% | 0% | 0% |
| 9 わが子は、積極的に読書に取り組んでいる。 | 28% | 39% | 22% | 11% | 0% |
| 10 わが子は、家庭学習(進んで勉強・自主学習)に取り組んでいる。 | 17% | 44% | 28% | 11% | 0% |
| 11 親として情報モラル(一乗スマートルールなど)について、わが子の年齢に応じた指導を心がけている。 | 17% | 50% | 28% | 0% | 6% |
| 12 わが子は、自分なりに深く考えて発言や行動することができる。 | 11% | 72% | 17% | 0% | 0% |
| 13 わが子は、まわりの人と協力して一緒に活動することができる。 | 33% | 61% | 6% | 0% | 0% |
| 14 わが子は、郷土福井を大切に思っって行動している。 | 17% | 61% | 17% | 0% | 6% |
| 15 学校は、郷土福井への関心を高めたり、感じたりできる活動に十分取り組んでいる。 | 56% | 28% | 17% | 0% | 0% |
| 16 わが子は、自分からあいさつしたり、気持ちのよい返事をするすることができる。 | 17% | 67% | 17% | 0% | 0% |
| 17 わが子には、よいところがある。 | 83% | 17% | 0% | 0% | 0% |

A ほぼ毎日
B 週3回以上
C 週1回以上
D 月1回以上
E 月1回未満

A よくあてはまる
B ややあてはまる
C あまりあてはまらない
D まったくあてはまらない
E わからない

※児童用の質問は高学年版を載せています。中・低学年には、学年に応じた質問の表現になっています。

※保護者の皆様方には、お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

【教職員の回答】

| | 質 問 | A | B | C | D | E |
|----|---|------|-----|-----|----|-----|
| 1 | 本校は、発達段階や児童生徒一人一人に応じた授業づくりに、熱心に取り組んでいる。 | 86% | 14% | 0% | 0% | |
| 2 | 本校は、道徳の授業時間を確保し、心を見つめさせたり生き方について考えさせたりする指導に努めている。 | 43% | 57% | 0% | 0% | |
| 3 | 本校は、児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向け努力するよう、キャリア教育に力を入れている。 | 100% | 0% | 0% | 0% | |
| 4 | 本校は、関係機関と連携をとったり、校内で情報を共有したりして、気になる児童生徒に十分な支援を行っている。 | 100% | 0% | 0% | 0% | |
| 5 | 本校は、児童生徒が郷土福井への関心を高めたり、大切に感じたりできる活動に十分取り組んでいる。 | 100% | 0% | 0% | 0% | |
| 6 | 本校は、スクールプランに基づき、目指す子どもの姿の実現に向けて協働して取り組んでいる。 | 100% | 0% | 0% | 0% | |
| 7 | 自分は、発問や問い返しを考えることで、子どもに柔軟に切り返すようにしている。 | 71% | 29% | 0% | 0% | |
| 8 | 自分は、児童が主体的に家庭学習に取り組めるような指導をしている。 | 43% | 43% | 14% | 0% | |
| 9 | 自分は、授業や児童会活動、体験活動などの中で、自ら考えて行動できるような場を作っている。 | 57% | 43% | 0% | 0% | |
| 10 | 自分は、学年に応じて、情報モラルやネット利用について指導し、児童の意識向上に努めている。 | 14% | 71% | 14% | 0% | |
| 11 | 自分は、児童が積極的に読書に取り組むような働きかけを行っている。 | 57% | 29% | 14% | 0% | |
| 12 | 自分は、児童が楽しいと感じられる活動を、工夫して行っている。 | 71% | 29% | 0% | 0% | |
| 13 | 自分は、教育方針や教育内容を保護者に理解してもらえるように、工夫して伝えている。 | 57% | 43% | 0% | 0% | |
| 14 | 自分は、不審者への対応や交通安全など安全面について適切に指導している。 | 86% | 14% | 0% | 0% | |
| 15 | 自分は、児童が進んであいさつや返事ができるように働きかけている。 | 71% | 29% | 0% | 0% | |
| 16 | 自分は、児童のよいところを伸ばす支援をしている。 | 71% | 29% | 0% | 0% | |
| 17 | 子どもたちの効果的な学びのために、PC・タブレットなどのICT機器を（1クラスあたり）どの程度使用しましたか。 | 43% | 43% | 0% | 0% | 14% |

Aよくあてはまる Bややあてはまる Cあまりあてはまらない Dまったくあてはまらない

Aほぼ毎日 B週3回以上 C週1回以上 D月1回以上 E月1回未満

※本校は、評価の「よくあてはまる」のみをとらえて考察しています。

<成果>

- ・「進んであいさつや返事をしている」児童は100%である。明るく元気な本校児童の姿がうかがえる。
- ・「みんなで何かをするのは楽しい」「郷土福井を大切にしたいという気持ちをもっている」「委員会活動やお手伝いなど、友達や家族、地域の人のために仲間と協力して仕事ができる」児童が9割を超えている。これは学校での活動が児童の自信につながり、前向きな気持ちで活動に取り組んでいることの表れである。
- ・「わが子には、よいところがある」と考える保護者が8割を超えている。お家の方がお子さんのよいところを認めることで、お子さんが積極的に活動できることの一因になっている。
- ・児童へのキャリア教育や支援、郷土福井への取組、めざす子どもの姿に向けての協働など、児童への支援活動は、全教職員が一丸となって取り組んでいる。

<課題>

- ・自主学習や授業での主体的な取組、考えを深める道徳や相手の考えを自分の考えに活かすことについては、よくあてはまると考える児童が半数に満たない。これらは、新しい学びとして取り組んでいることであり、従来の知識重視の学力とは違った学びの形である。児童は、やらされ感のある学びから脱却しようとしている状態であり、学びのスタイルに迷っている姿がここからうかがえる。
- ・教育方針や内容の伝え方、安全面での指導に不安があり、子どものことで気軽に相談できないと保護者は考えている。学校の取組の周知が十分ではないということであり、今後、より一層努力すべきことである。
- ・郷土福井を大切に思っていることや、進んであいさつや返事をしていることが、保護者と児童の間で大きく感じ方が違う。学校での様子と家庭での様子が違うことが考えられる。家庭では甘えが出てしまうということかもしれないが、どのような場においても望ましい態度がとれる児童であるように、声をかけていきたい。
- ・生き方について考えさせたり、主体的に家庭学習へ取り組んだりするための指導について、教職員の評価が低い。指導に自信がないところは児童へも伝わる。新しい価値観での学びについて、教職員もしっかり対応していく必要がある。